

# 町民ポスト

投函日 4/15

氏名 持安弘行

## ご意見

「上富良野町内の食物アレルギー」について

春雨の候、貴職におかれましては『町民の声で「かみふ」を創ります』と三児のパパとしての経験をもとに「様々な教科の内容を理解し身につけることは重要であり、肌で感じた経験はかけがえのない財産となる」との信念のもと、子育て中も働きたい、息抜きしたい、そんな保護者の声を大切に、親子にとって有意義な育児と成長の時間を得られる環境を目指しご尽力いただいていますこと、町民として感謝申し上げますとともに、ご期待申しあげるところであります。

さて、標記「食物アレルギー」について「かみふらの近郊でも、食物アレルギーがあっても安心楽しく理解のある環境づくりを目指して、アレっ子ママ友の会」を設立し、話合いの場を設けています。

その話し合いの中で「いざという時頼りになるのは、身近な知識のある大人」先ずは、食物アレルギーについて知ってもらい、一人でも多くの方に自分事として、共に歩んでいただけるような環境(かみふ)になればとの思いで、食物アレルギー講習会(仮称)の開催を検討しています。

食物アレルギーをもつ子は増加しており、全国の公立小中高高校に約52万7千人との報道もあります。また、これまで全く症状が見られなかったり、前兆がなくても突然起こる場合もあるという。

住民会活動で、小分けにして配るお菓子はどうなんだろうか？ もしかしたら食べれない子がいるのでは。教育現場での対策は、まずは身近なこと「災害時の食料備蓄」から見直す必要があることに話し合う中で気づき、今準備を進めています。

そこで、町にお願いがあります。

上富良野町内において「食物アレルギーを持つ幼児・児童・生徒」は何人いるのでしょうか？  
教えてください。

## 回答

所管課

保健福祉課・教育委員会

子どもの「食物アレルギー」に関するお問い合わせについてお答えいたします。

町では、すべての子どもを対象とした「食物アレルギー」の実態調査等を実施していないため、正確な人数は把握しておりませんが、参考として次の数値をお知らせいたします。

○食物アレルギーを持つ「幼児」の人数について【保健福祉課 子育て支援班】

町内の認定こども園4園では、入園児に保護者から調査票を提出いただくとともに、さらに聞き取りも行って調査しており、アレルギー対応食をトレーの色や札により区別して、事故の発生リスクを防いでおります。4月末現在で町内の認定こども園に通う幼児は251名、うち13名に食物アレルギー対応を行っております。

○食物アレルギーを持つ「児童・生徒」の人数について【教育委員会 教育振興課】

毎年度当初に町立の小学校3校及び中学校1校において、子どもたちの食物アレルギーの状況の把握を目的とした保護者への書面調査を行っております。調査は子どもたちの食物によるアレルギーの有無について、「ある・ない」の2択で回答する形式となっており、「ある」とかいとうした子どもたちについては、抗アレルギー薬の処方状況や学校給食での代替食の希望等を把握する内容となっております。

令和6年4月実施の調査で、「食物によるアレルギーがある」と回答した人数は次の通りです。

・児童(小学校3校の合計) 442名中、74名

・生徒(中学校1校) 256名中、39名

合計 698名中、113名